

茨城県知事選 田中氏が善戦・健闘 開発優先から県民に優しい県政へさらに

茨城民報

発行所
日本共産党
茨城県委員会
〒310-0804
水戸市白梅3-13-8
☎029(353) 8290

日本共産党
茨城県委員会の
ホームページ
<http://ibjcp.gr.jp>
e-mail
jcp@ibjcp.gr.jp



選挙結果を受け会見に応じる田中氏（中央）＝7日、水戸市

茨城県知事選が9月7日に投票開票され、「いのち輝くいばらきの会」が擁立した茨城大学名誉教授の田中しげひろ氏（新）は16万2216票（得票率21・10％）を獲得し善戦・健闘したもの、及びませんでした。当選は現職の大井川和彦氏（自民・公明・維新・国民推薦）。投票率は33・52％（前回35・02％）。

選挙戦で田中氏は「大型開発優先から、何より県民の命と暮らしを守る県政に転換する」と力説。全国8位の

財政力を生かし、▽中小企業支援と一体で最低賃金を1500円以上に▽医師・看護師・教員を増やす▽農業予算を2倍に▽東海第二原発の再稼働ストップなどを訴え。庁舎内でのパワハラの根絶を公約しました。日本共産党、社会民主党、新社会党、緑の党、つくば・市民ネットワークが推薦・支持するなど、共闘も広がりました。

選挙後の会見で田中氏は「全国8位の財政力があれば県民のくらしをもっと豊かにすることができ。農業や働く人、教育を切り捨ててきたのが自民党丸抱えの大井川県政だ。大きく変えてほしいと県民は望んでおり、これから声をあげ続けたい」と語りました。

田中氏は今年7月の参院比例票比で共産・社民票（7万1189票）の227％を獲得。一方で大井川氏は得票を前回比で約21万票減らし、自民・公明・国民・維新比例票の約80％にとどまりました。内田氏は参政・保守比例票の68％でした。

東海村長選・県議補選
大名、山中両氏が決意

知事選とあわせて県内では7日、東海村長選と県議補選（つくば市区・欠員1）が投票開票されました。

東海村長選では日本共産党が自主支援した「対話でつなぐ明日へのとうかいプロジェクト」の大名章文氏が「住民合意のない東海第二原発の再稼働は認めない」との立場で奮闘。

「誰一人取り残さない」とのスローガンは原発問題でも問われる。原発のことを多くの人々が理解してからは非を判断するという手続きをとるように、今後村政にはたらきか



支援者から花束を受け、あいさつする大名章文氏（左）＝7日、東海村（「しんぶん赤旗」提供）



選挙結果を受け、花束を受け取る山中氏（左から3人目）＝7日、つくば市（「しんぶん赤旗」提供）

けていきたい」と述べました。

県議補選では日本共産党の山中たい子氏が「県民の命と暮らしを守る県政を」と訴え、善戦健闘。市内で悲願となっていた県立高校の新設や国保税の引き下げ、東海第二原発の

廃炉を呼びかけ、支持を広げました。山中氏は「自公が少数になった参院選後の自民党との一騎打ちで、どうしても勝ちたかった。論戦と市民の暮らしを支える政策はかみ合っていた。公約実現に頑張りたい」と語りました。

知事選開票結果 (選管最終)			
162,216	田中 重博	78	無新
当 447,833	大井川和彦	61	無現
158,585	内田 正彦	51	無新
東海村長選開票結果 (選管最終)			
2,960	大名 章文	69	無新
当 10,659	山田 修	64	無現
928	根本 華奈	34	無新
県議補選 (つくば市区) (選管最終)			
24,293	山中たい子	74	共元
当 39,121	塚本 一也	60	自元

県議補選をたたかって

党派を超えた期待が共産党へ 地域からの共同をさらに

山中たい子



ご支援とご協力をありがとうございます。ごさいました。衆参両院で自公政権が少数に転落するという新しい情勢のもと、自民党候補との一騎打ちのたたかいで得票率38%を獲得することができました。

訪問や街頭宣伝の先々で必ず出たのが、「自民党はもうだめだ」の

声。同時に、「がんばれ」の激励、車や街頭からの手振りなど大いに励まされました。

「もうかる茨城」の名で国言いに大型開発を優先し、福祉や医療を後回しにする大井川県政を全面的に支える自民党と対比して、

「県民の立場でモノを言う野党の議席が必要」「県政と県議会のチェック役として党派を超えた支援を」の訴えは共感を広げました。自民党と正面対決する日本共産党が県議会における監視役としてかけがえのない役割を果たしていることの反映です。

子育て世代が多いつくば市では、とくに県立高校を求める幅広い市民運動が長年取り組まれており、その活動が一步一步、県政を動かしています。地域から共同を広げて要求実現、自民党政治を変えるために力を尽くします。

「歴史の逆行許さない」江尻県議が報告

百里基地強化めぐり 県弁護士会がシンポジウム

水戸市で9月21日、「空港インフラの軍事利用を考える」をテーマに茨城県弁護士会主催のシンポジウムが開かれ、日本共産党の江尻かな県議が自衛隊百里基地（茨城空港）で計画されている機能強化について報告しました。

江尻氏は政府の大軍拡のもと、百里基地の強化につながる整備費が増え続けていると強調。他国軍との訓練も頻発し、核兵器が搭載可能な米空軍B52爆撃機との共同訓練は重大だとし、「防衛省は『抑止力』の向上とする一方で、百里が攻撃の対象となることも否定していない」と警鐘を鳴らしました。また県による平行誘導路の新設計画や、国が2027年度に百里基

地所属のF2戦闘機に長射程ミサイルの配備を狙っていると指摘。「戦後の一坪運動で百里平和公園と射撃場山は基地を両側から挟む『くさび』となり歴史の逆戻りを阻止してきた。再び土地を奪う誘導路計画は認められない」とし、基地強化と一体の県の計画を追及していきたいと話しました。



報告する江尻県議
9月21日、水戸市

「東海第二は廃炉に」いばらき大集会

日本原子力発電東海第二原発（東海村）の廃炉を求める「STOP! 東海第二原発再稼働いばらき大集会」が8月23日、村内で開かれ、約600人が参加しました。同実行委員会が主催。

茨城県生活協同組合連合会の鶴長義二会長理事は「事故が起こればコントロールできないのが原発。避難は到底不可能で、再稼働は中止すべきだ」と訴え。宮嶋謙かすみがうら市長、中島栄美浦村長、村上達也元東海村長が廃炉への連帯を呼びかけました。同原発運転差し止め訴訟団の大河陽子弁護士が講演し、



廃炉を訴えるデモ行進の参加者
=8月23日、東海村

過酷事故時の避難の困難性を指摘。道路の渋滞などで「避難も屋内退避もできないことが想定される」と述べました。日本共産党の江尻加那那県議、大名美恵子東海村議ら県内の党議員が参加しました。

リレーコラム vol.9 希望のまど

大洗町議 きくち昇悦さん



核兵器廃絶は世界が求める課題です。大洗町は核廃絶署名の住民過半数を達成させた歴史をもっています。地道ですが自慢したいと、9月23日、

民共同のとりくみになっ

町三役、議会や民間

組織への協賛金をお願い、役場の住民課窓口には被爆者救援の募金箱も設置。原爆写真展

まちぐるみで平和を共有

今年の平和行進の活動報告とご苦労さん会で、実行委員会の役目を終えました。平和行進は毎年4月下旬から話し合いが始まりますが、大洗町の特徴は官

折り鶴は中学生平和大使に託され、広島平和公園に奉納されます。若い人たちが表現する平和に希望を感じます。実行委員の中心メンバーは20代からの活動。テキパキ動く姿を見るたびに若さを感じていますが、後継者づくりの課題を認識しながら来年度の平和行進を迎えることとなります。

2025 年第3回定例会 (9/30~10/24)

県議会予算特別委員会

江尻かな県議が質問します

10月21日(火) 予算特別委員会室
茨城県議会棟5階

* 時間や質問項目はあらためてご案内いたします



ぜひ傍聴にお出かけください
県議会ホームページ「議会中継」でも配信されます
◀ 質問はリアルタイムでインターネット視聴できます

